

蔵王町財務書類（統一的な基準）

-概要版-

（令和4年度 一般会計）

財務書類の公表

地方公会計制度での財務書類については、H20年度決算からの作成・公表が必要となり、蔵王町では「総務省方式改定モデル」により財務書類を作成してきました。

しかし、複数の基準があったことから、H26年度に財務書類の「統一的な基準」が示され、H29年度までに財務書類の作成が必要となりました。蔵王町では、H26年度決算から「統一的な基準」による財務書類の試作を行い、H27年度決算から公表しております。

財務書類でわかること

住民一人あたり		純資産比率	負債比率
資産	163万円	71.1%	40.7%
うち現預金	25万円	企業会計でいう「自己資本比率」に相当し、この比率が高いほど財政状況が健全であると言えます。〔純資産/総資産〕	純資産に対する負債の割合を表すもので、この比率が低いほど財政状況が健全であると言えます。〔負債/純資産〕
負債	47万円		
うち借金	39万円		
純行政コスト	63万円		

貸借対照表

行政サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賅ってきたのかを示したものです。

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
1 固定資産	17,365	1 固定負債	4,639
（事業用、インフラ資産、その他、基金など）		（地方債など）	
		2 流動負債	628
		（地方債翌年度償還金など）	
		負債合計	5,267
2 流動資産	846	純資産の部	
（未収金、財政調整基金など）		国・県及び過去世代が負担した分	
うち現金預金	206	純資産合計	
		12,943	
資産合計	18,210	負債及び純資産合計	18,210

連結

全体

一般会計

特別会計：国保、介護、後期高齢

企業会計：病院、水道、下水

一部事務組合等

仙南地域広域行政事務組合、白石市外二町組合、非常勤消防団員補償報償組合、後期高齢者広域連合、市町村自治振興センター

行政コスト計算書

人的・給付サービスの提供など資産形成以外の行政活動に要したコストと、財源となる使用料・手数料などの収入の関係を示したものです。

（単位：百万円）

1 経常費用	6,678
（内訳）	
(1) 経常業務にかかるコスト	3,828
① 人にかかるコスト	1,573
② 物にかかるコスト	2,189
③ その他コスト（支払利子など）	66
(2) 移転支出にかかるコスト	2,850
（補助金等、社会保障給付など）	
2 経常収益	162
（使用料・手数料、諸収入など）	
3 臨時損失	482
（災害復旧、出資金強制評価減など）	
4 臨時利益	2
（資産売却益など）	
純行政コスト(1-2+3-4)	6,996

資金収支計算書

1年間の行政活動の資金の増減を3つに区分して示したものです。

（単位：百万円）

1 期首資金残高	205
2 期中増減額	0
（内訳）	
(1) 業務活動収支	17
(2) 投資活動収支	168
！基礎的財政収支（利払後）	185
(3) 財務活動収支	△185
3 期末資金残高(1+2)	206
4 期末歳計外現金残高	0
期末現金預金残高(3+4)	206

！基礎的財政収支（プライマリーバランス）がゼロ以上であれば、借金に依存しない財政運営が行われたことになります。

純資産変動計算書

純資産が1年間でどのように増減したかを示したものです。

（単位：百万円）

1 期首純資産	13,091
2 期中増減額	△147
（内訳）	
(1) 純行政コスト	△6,996
(2) 税金等、国県等補助金	6,706
(3) 評価損益・所管換など	142
期末純資産残高(1+2)	12,943

※単位未滿を四捨五入しているため、一致しない箇所があります。